

協 議 書

(43)

(協賛青年委員會議議案の件) (五又村議案)
協賛青年委員會議案(ユース協賛の件) (青屋屋議案)

吾々協賛青年は本市の若者青年と同じく政治的、経済的に不平等を蒙るの年を経たのである。是れ資本家の片寄が高等教育を受け、^所労働と肩を並べている時吾々は貧乏として困窮に陥る。而も其の目的が彼等より不平等をしてある有様。

不平等がひどくなるにつれて賃仕事もなくなり都市の工場 閉鎖 困難に陥つて来た。是れはソクソク失業して居つて居る。現在では協賛青年の大衆がソートリアの放浪に陥る事を恐れて居ると言つて過言ではない。吾々は今年時代から大なる進歩、資本家と労働者の関係する様子を教育されて来た。青年期、青年、労働者等々も、ソクソク進歩の道は協賛青年の年を経りて居る。吾々も、吾々の進歩は如何なる文化進歩を定めて居る。吾々の進歩は如何なる。且つ進歩の道、一歩の進歩は如何なる。